



歴史研究所第6期中期計画がスタートします

令和7年度から令和10年度までの事業計画である第6期中期計画を策定しました。より地域に根ざした飯田市独自の社会教育機関として、市民や地域に寄与する諸活動の更なる充実を図るよう取り組みます。詳細はウェブサイトをご覧ください。

I 基本方針

- 1 「地域遺産」を調査研究・記録し、保存と公開を図り、成果を市民に還元し共有します。
- 2 戦争や災害・くらしの記憶や日々過去となりつつある現在を記録していきます。
- 3 飯田市を対象に包括的に理解するため、歴史的に不可分な下伊那地域や関連する諸地域も対象に調査研究します。
- 4 地域史研究の拠点として、研究活動を行う団体や個人、市社会教育機関と連携し、調査研究及び地域を担う人材の育成と教育普及事業に取り組みます。
- 5 歴史研究所の取組の成果を市民や地域外にも広く発信し、交流を図ります。
- 6 この地域の交通環境の変化に対応してきた歴史をひも解き、これからの地域創造と地域の持続につなげる地域史研究活動に取り組みます。

II 重点目標

- 1 地域アーカイブズの保存・継承
地域史料を散逸・消失から守り、未来に継承するための、調査・記録・保存活動に継続的に取り組みます。歴史公文書の市民への公開・利用の体制構築に向けて協議・検討を進めます。
- 2 地域遺産の再発見と利活用の促進
地域遺産が持つ新たな価値を発見(再発見)して、市民や地域に伝え還元し、利活用に向けた活動を支援していきます。
- 3 市民・地域研究団体等との連携
市民や地域の研究者、研究団体等と連携して地域に密着した調査研究活動を行い、地域史研究や地域遺産の保存継承を進めます。
- 4 地域史研究に関わる人材の育成と教育普及事業の推進
古文書講座の中級者向け講座の開設やオーラルヒストリー調査の「聞き手」の育成に取り組みます。高校生などの若年世代を対象とした学習機会の開設や、市民が参加しやすい方法を検討していきます。
- 5 恒久的施設の立地・環境改善に向けた検討
恒久的施設として、市民の利便性や学習支援の効果を期待できる場所や施設環境、併せて公文書館機能の整備に向けた、あるべき方向性について検討を進めます。

III 基本的事業活動

1 調査研究活動

歴史研究所の諸事業の基盤であり、各研究員が連携し研究・調査事業に取り組みます。

(1) 史料調査

文献史料、オーラル史料、建造物、景観、行政文書、映像、写真、音声等

(2) 研究活動

基礎共同研究、基礎研究

(3) 各種研究会

地域史研究集会、ワークショップ、定例研究会、史料研究ノート、年報の刊行

3 研究人材の育成と地域連携

地域史研究の活性化を目指し、研究人材のすそ野を広げ、研究団体や研究者との協働に継続して取り組みます。

(1) 市民研究員制度

(2) 研究活動助成

(3) 飯田歴研賞

(4) 地域史研究団体との協働

4 地域史編纂・出版事業

調査研究成果を地域やテーマに沿って書籍として出版します。

(1) 歴史研究所年報

(2) 調査報告

(3) 史料編纂

(4) 地域史叙述

(5) 刊行支援

2 教育普及活動

調査研究活動の成果を市民に還元し地域史を学ぶ場を提供します。

(1) 地域史講座

(2) 飯田アカデミア

(3) ゼミナール・ワークショップ

(4) 古文書講座

(5) 出前講座

(6) 美術博物館トピック展示



2024 地域史研究集会の様子

IV 歴史研究所の体制整備

1 組織・運営

研究員の体制の維持に向けて現状の点検と評価を行います。利用者の利便性向上として、ウェブサイトでの所蔵資料の検索に向けたシステム構築などについて取り組みます。

2 連携

調査研究、教育普及、人材育成の取組において、市社会教育機関や学校、大学等研究機関、研究団体等と連携していきます。次代を担う若年層向けに、小中学校や、高校での地域の学習における「出前講座」の実施など、学習支援に取り組みます。